

大多府漁港元禄防波堤



| | |
|--------|--|
| 指定区分 | 国登録有形文化財(建造物) |
| 読みかた | おおたぶぎょこうげんろくぼうはてい |
| 所在地 | 備前市日生町大多府 |
| 指定年月日 | 平成10年1月16日 |
| 解説 | 元禄11年(1698)岡山藩により築港された大多府港の石積防波堤。津田永忠の指揮によるものと推測されている。石を二段に積んだ構造で、曲面形状を呈する。後世の補修は見られるが、現役の港湾施設として機能している。 |
| アクセス方法 | 大多府島へ日生港から定期船で約30分 |
| 公開状況 | 現役の港湾施設 |
| 設備 | |
| 備考 | |